



# わくわくドキドキ！大物を狙え！ 新地町海釣り公園釣り教室&釣りツアー 福島県新地町の魅力を体験 カンパチ、イナダ、ヒラマサ、イシダイも

2026年10月10日（土） 釣り教室

2026年10月24日（土）～25日（日） 釣りツアー



**福島県新地町と産経新聞社は、東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所事故からの復興が進む新地町の魅力を体験する釣りイベント「わくわくドキドキ！大物を狙え！新地町海釣り公園釣り教室&釣りツアー」を開催します。**

釣り教室は2026年10月10日（土）午前・午後の2部制。釣りツアーは10月24日（土）～25日（日）の1泊2日で実施します。参加者は福島県外在住者を対象に一般から募集。たくさんの種類の魚が集まり、大物が釣れる新地町海釣り公園の魅力を体験してもらおうとともに、参加者にイベントの様子をそれぞれのSNSで発信してもらい、魅力を伝え、多くの人に新地町を訪れてもらうことが目的です。

新地町海釣り公園は、隣接する相馬共同火力発電所で冷却のために使用した「温海水」が流れ込んでおり、周囲よりも温かい海水に、たくさんの種類の魚が集まってきます。餌も豊富で、根付いた魚が大きく育ちます。カンパチやイナダ、ヒラマサといった「青物」の大型魚のほか、イシダイやクロダイ、ヒラメといった「底物」まで、一年を通じて、いろいろな釣りが楽しめます。レンタル釣り具や仕掛け、餌も用意しており、初心者でも手ぶらで手軽に海釣りに挑戦できます。

釣り教室と釣りツアーでは、海釣り公園での釣り方を知り尽くした地元の釣りインストラクターが、釣り具の使い方や仕掛けの作り方、投げ釣りのキャスティングなどを丁寧に指導。ツアーには人気釣りYouTuberがゲストとして参加。釣った魚の大きさを競う大会、釣った魚のさばき方やおいしい食べ方を習う料理教室も実施します。

# わくわくドキドキ！大物を狙え！ 新地町海釣り公園釣り教室&釣りツアー 実施概要

主催：新地町 運営：産経新聞社 旅行企画・実施：有限会社ウインズトラベル  
参加条件：参加者がそれぞれのSNSにイベントの様子を投稿すること

## 【釣り教室】2026年10月10日（土）午前・午後の部

参加者：福島県外在住者 午前・午後の部それぞれ2名5組

参加費：無料

ポイント

- ①新地町海釣り公園釣りインストラクターが丁寧に指導
- ②釣り具、仕掛け、餌などすべて用意。初心者が手ぶらで気軽に参加

## 【釣りツアー】2026年10月24日（土）～25日（日）

参加者：福島県外在住者 2名12組

参加費：1組当たり1万円

ポイント

- ①初日にインストラクターによる釣り教室を実施
- ②2日目に、魚種は問わず、釣った魚の大きさを競う釣り大会を開催。1～3位に豪華賞品を贈呈
- ③`魚の伝道師、として活動する`ウエカツ、こと上田勝彦氏を講師に招き、釣った魚のさばき方、おいしい食べ方を習う料理教室を開催
- ④人気釣りYouTuber「アナハゼティ」と「ミラクル宮」がゲストとして参加

### 料理教室講師 上田勝彦氏



ウエカツ水産代表。元漁師で元水産庁役人という異色の経歴を持ち、トークと料理を通じて魚の魅力を伝える`魚の伝道師、として活動。

### ゲストYouTuber アナハゼティ



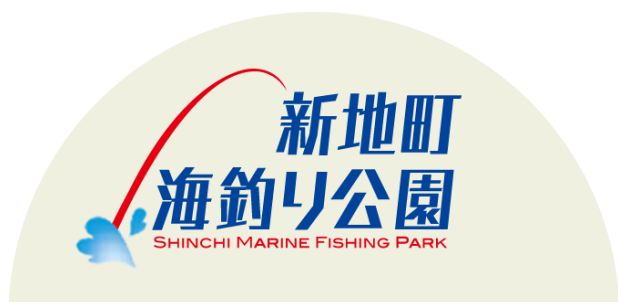
実釣や魚料理、釣り具紹介など、釣りの魅力を楽しく発信する人気YouTuber。

### ミラクル宮



ブラックバスなどの淡水から海釣りまで、多彩なジャンルの釣り動画を投稿しています。

## 新地町海釣り公園



2009年4月、相馬港5号埠頭に、外海に突き出した釣りデッキを設けて25区画を整備し開園。相馬共同火力発電所から放流される「温海水」の影響で、たくさんの種類の魚が集まり、大物が釣れる釣りスポットとして人気に。2011年3月11日の東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受け休園。2019年4月、釣りデッキを延伸し41区画に拡張し再開。新地町の貴重な観光資源として、毎年多くの人々が訪れている。